

令和6年度
東京医学技術専門学校
学校関係者評価

令和6年度 東京医学技術専門学校学校関係者評価

『専修学校における学校評価ガイドライン』に基づいた自己点検評価を元に学校関係者評価委員会にて評価を実施し報告する。

1. 教育理念・教育目標

【評価項目】

- 1 教育理念・教育目標、育成人材像が設定されているか
- 2 教育理念・教育目標、育成人材像が明確化されているか
- 3 職業教育の特色が明確化されているか
- 4 教育理念・教育目的・人材育成像が学生・保護者等に周知されているか
- 5 教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向付けされているか

○現況・課題

- ・「医学技術を以て社会の発展に寄与する」との建学の精神に基づき、豊かな教養と人間性を高め社会貢献できる人材の育成を目的としている。
- ・教育理念・教育目標はホームページで周知し、オープンキャンパスでも参加者に周知している。
- ・臨地実習開始時に施設長からニーズを聞き、教育に反映している。

委員の判断 適切である

委員からの意見

今後も学科内容・学校についての外部への情報発信について検討する。

2. 学校運営

【評価項目】

- 1 目標等に沿った運営方針が策定されているか
- 2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか
- 3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか
- 4 人事や給与に関する規定は整備されているか
- 5 情報システム化による業務の効率化が図られているか

○現況・課題

- ・学則・教育概要に沿って年間スケジュールと事業計画を進めている。
- ・定期的な運営会議等を行い学校運営方針の職員への周知が行われている。
- ・人事・給与については十分な管理がされている。
- ・情報管理については共有できるシステムで行っている。

委員の判断 適切である

委員からの意見

教育理念・学科内容・学校についての外部への情報発信について検討する。

今後も教育効果と業務効率化の向上を図って欲しい。

3. 教育活動

【評価項目】

- 1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 2 教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 3 カリキュラムは体系的に編成されているか
- 4 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 5 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 6 人材育成目標の達成に向け要件を備えた教員を確保しているか
- 7 最先端知識・技術等の研修や教員の資質向上の為の取り組みが行われているか
- 8 教員の資質、指導能力向上に対する取組が行われているか

○現況・課題

- ・教育課程は指定規則に則り、講義・学内実習・臨地実習を実施している。
- ・教育課程は現代の医療現場に則し、必要に応じてカリキュラム改定を行っている。
- ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定は学則に従い、校長を主とした教員会で判定している。
- ・専任教員・非常勤講師はシラバスに基づいて授業を実施している。
- ・実務経験豊かな教員の採用の為、求人活動を行っている。
- ・教員は学会・研修会に参加し、資質向上に努めている。
- ・資格取得に対して、全教職員で学生教育を行い、指導を行っている。
学校独自の TOP-1（臨床検査技師国家試験対策用 PC プログラム）により、国家資格取得について整備している。

委員の判断 適切である

委員からの意見

歯科衛生士科での TOP-1 の活用を検討して欲しい。

4. 学修成果

【評価項目】

- 1 就職率の向上が図られているか
- 2 資格取得率の向上が図られているか
- 3 退学率の低減が図られているか
- 4 卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか

○現況・課題

- ・就職活動時の履歴書について添削指導を行っている。
- ・TOP-1（臨床検査技師国家試験対策用 PC プログラム）基礎学力の向上を図り、個別指導を実施していく。
- ・成績不良者や欠席の多い学生に対して、クラス単位で担任指導が行われている。

委員の判断 適切である

委員からの意見

退学率低減のために、精神的なフォローを含み指導を心がける。

小学校・中学校でも心理的に弱い学生が増えているので、本校でも心理カウンセラーの導入により、精神

等に心配事などがある学生に対しての退学率の低減が図られるのではないかと意見を頂いた。
カウンセラーの導入が難しいようなら、気軽に相談できる窓口を設けてはどうか検討するとともに学生の相談先の間口を広げ、成績の向上と留年・退学率の低減を心がけてほしい。

4. 学修成果

【評価項目】

- 1 就職率の向上が図られているか
- 2 資格取得率の向上が図られているか
- 3 退学率の低減が図られているか
- 4 卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか

○現況・課題

- ・就職活動時の履歴書について添削指導を行っている。
- ・TOP-1（臨床検査技師国家試験対策用PCプログラム）の活用と基礎学力の向上を図り、個別指導を実施していく。
- ・成績不良者や欠席の多い学生に対して、クラス単位で担任指導が行われている。

委員の判断 適切である

委員からの意見

退学率低減のために、精神的なフォローを含み指導を心がける。
小学校・中学校でも心理的に弱い学生が増えているので、本校でも心理カウンセラーの導入により、精神的に心配事などがある学生に対しての退学率の低減が図られるのではないかと意見を頂いた。
カウンセラーの導入が難しいようなら、気軽に相談できる窓口を設けてはどうか検討するとともに学生の相談先の間口を広げ、成績の向上と留年・退学率の低減を心がけてほしい。

5. 学生支援

【評価項目】

- 1 進路指導に関する体制が整備されているか
- 2 学生相談に関する体制が整備されているか
- 3 学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか
- 4 保護者と適切に連携しているか
- 5 卒業生への支援体制はあるか

○現況・課題

- ・進路指導担当者を置き、進路指導・就職相談を行っている。担任を中心に生活態度・成績評価にて学生相談を行っている。
- ・投書箱の設置を行い、その対応を学生に掲示している。
- ・経済的困難な学生に対して奨学金制度等の案内や手続きの支援を行っている。
- ・成績通知を保護者に送付し、必要に応じて連絡・面談を行っている。
- ・卒業生への就職斡旋と相談を行っている。 国家試験不合格者には聴講生制度を設けている。

委員の判断 適切である

委員からの意見 特になし

6. 教育環境

【評価項目】

- 1 施設・設備は教育上、十分に対応できるよう設備されているか
- 2 実習室の機器・備品は教育上十分に対応できるよう設備されているか
- 3 学校施設・機器備品等が定期的に管理・点検されているか
- 4 図書室及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか
- 5 防災に対する体制は整備されているか

○現況・課題

- ・設備の修繕を行い、学習環境と衛生環境を整えるよう努めている。
- ・防火は定期点検を行い。地震等の災害時の備蓄品の整備を行っている。

委員の判断 適切である

委員からの意見

第一校舎の建て替えにて、教育環境の再整備と見直しを行ってほしい
それに伴い、実習機器整備の見直しも行う。

7. 学生の受入れ募集

【評価項目】

- 1 学生募集活動は、適正に行われているか
- 2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 3 学納金は妥当なものとなっているか

○現況・課題

- ・オープンキャンパス等の実施回数を増やし、各科毎におこなっている。
- ・各科とも募集定員に達していない。
- ・学生の受入れ募集について、適正に実施している。
- ・学納金及び教材費等、また奨学金制度については募集要項及びホームページにて情報公開を行っている。
- ・各科とも定員数を満たしていない。

委員の判断 適切である

委員からの意見

少子化に伴う学生数の減少が続いている。頻繁にオープンキャンパス開催や高校内進路ガイダンスに参加しているが、高校訪問やホームページ等広報の方法を今後も模索し実施してほしい。
卒業生への情報発信方法についても検討して欲しい。

8. 財務

【評価項目】

- 1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 2 予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか
- 3 財務について、会計監査が適正に行われているか
- 4 財務情報公開の体制整備はできているか

○現況・課題

- ・特になし。

委員の判断 適切である

委員からの意見 特になし

9. 法令等の遵守

【評価項目】

- 1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 3 自己点検・評価の実施と問題点改善に努めているか
- 4 自己点検・評価を公開しているか
- 5 学校関係者評価を実施して評価結果を公開しているか

○現況・課題

- ・個人情報管理について、情報漏洩のないよう教職員に徹底し危機管理を行っている。
- ・本校ホームページにて自己点検・評価及び関係者評価を公開する。

委員の判断 適切である

委員からの意見 特になし

10. 社会貢献・地域貢献

【評価項目】

- 1 学校の教育資源を有効活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

○現況・課題

- ・学会への教室の提供など支援を行っている。

委員の判断 適切である

委員からの意見

国家試験合格率向上のため、大学等のようにカリキュラムにボランティアを組み込むのは難しいと思われるが、休日や夏休みなどの休暇時に参加を促してもよいのではないかと。

地域の技師会や歯科衛生士会に学生参加のボランティアの要望を聞いてみる。

以上